

Comparison of intestinal microbes and metabolites in active VKH versus acute anterior uveitis associated with ankylosing spondylitis.

Li M, Liu M, Wang X, Wei H, Jin S, Liu X.

Br J Ophthalmol. 2023 Oct 11:bjo-2023-324125.

腸内細菌叢が全身の免疫メカニズムに関与しており、ぶどう膜炎の病態にも深く関与していることが報告され、腸内細菌叢の解析が世界で注目されました。本研究は、Vogt-小柳-原田(VKH)病、急性前部ぶどう膜炎、正常コントロールにおける腸内細菌叢の病原微生物と代謝産物を比較検討した報告です。腸内細菌叢の多様性は3群間に有意差はみられず、複数の腸内細菌と代謝産物がそれぞれの群で検出されました。AAUでは特異的な代謝産物はみられずVKHのみに特異的な微生物と代謝産物がみつき、それらの微生物と代謝産物はバイオマーカーとして有用であったと報告されています。興味深いことにVKH病においてビタミンB3,7変化が強くVKHの病態への関与が考えられます。今後は本研究の様にDNA, mRNAといった遺伝子だけでなく、タンパク質、代謝産物などを網羅的に解析し、新たな角度からの病態解明がすすむことが考えられます。

(担当者: 東京医科大学 坪田 欣也)